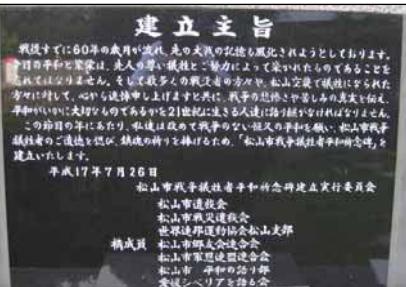


## ① 松山市戦争犠牲者平和祈念碑



### 基本情報

所 在 : 松山市平和記念広場  
 住 所 : 愛媛県松山市道後姫塚乙22-1  
         (伊予鉄道 道後温泉駅 徒歩10分)  
 連絡先 : 松山市市民部 市民参画まちづくり課 089-948-6814 (直通)  
 建立者 : 松山市  
 建立年 : 平成17年7月26日

※一般戦災死没者を含む

### 碑 文

#### 【表】

平和

松山市戦争犠牲者  
平和祈念碑

#### 【裏】

建立主旨

戦後すでに60年の歳月が流れ、先の大戦の記憶も風化されようとしております。今日の平和と繁栄は、先人の尊い犠牲とご努力によって築かれたものであることを忘れてはなりません。そして数多くの戦没者の方々や、松山空襲で犠牲になられた方々に対して、心から追悼申し上げますと共に、戦争の悲惨さや苦しみの真実を伝え、平和がいかに大切なものであるかを21世紀に生きる人達に語り継がなければなりません。この節目の年にあたり、私達は改めて戦争のない恒久の平和を願い、「松山市戦争犠牲者平和祈念碑」を建立いたします。

平成17年7月26日

松山市戦争犠牲者平和祈念碑建立実行委員会

松山市遺族会

松山市戦災遺族会

世界連邦運動協会松山支部

構成員 松山市郷友会連合会

松山市軍恩連盟連合会

松山市 平和の語り部

愛媛シベリアを語る会

## ② 松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式



### 開催概要 (平成24年度)

歳事名 : 松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式 ※一般戦災死没者を含む  
 会場 : 松山市平和記念広場 松山市戦争犠牲者平和祈念碑前  
         (伊予鉄道 道後温泉駅 徒歩10分)  
 日時 : 平成24年7月26日 (木) ※例年7月26日開催  
 参列者数 : 約100人  
 連絡先 : 松山市市民部 市民参画まちづくり課 089-948-6814 (直通)

### 式次第 (平成24年度)

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 開         | 式 : 司会              |
| 2. 黙         | 祷                   |
| 3. 式         | 辞 : 松山市平和祈念実行委員会 会長 |
| 4. 供花・追悼のことば | 松山市長                |
| 追悼のことば       | 遺族代表                |
| 5. 電報披露      |                     |
| 6. 作文朗説      | 拓南中学校1年生 代表         |
| 7. 献歌斎唱      | 千の風になって/故郷          |
| 8. 献花        | 代表/来賓/一般            |
| 9. 閉         | 式                   |

### 追悼のことば (平成24年度)

松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式追悼のことば

本日ここに、松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式が挙行されるに当たり、松山市民を代表し、先の大戦における戦争犠牲者の御靈に謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦で、国内外において、多くの尊い命が失われたことは、私たち松山市民にとりましても、永遠に忘ることのできない悲しい出来事であり、痛恨の極みでござります。

本市におきましても、六十七年前の昭和二十年七月二十六日、B29の焼夷弾攻撃により、市民の必死の消火活動の甲斐もなく、市街地の大半は灰燼に帰し、多くの市民の方々が罹災されました。

とりわけ、最愛の肉親を亡くされた御遺族の御心情を拝察するとき、お慰めの言葉もありません。一家の柱を失い、苦難に耐えながら自らを鼓舞することを忘れず、立派に子供を養育し、また、家業に精励してこられた御努力は、万人相認めるところであり、心から敬意を表する次第でございます。

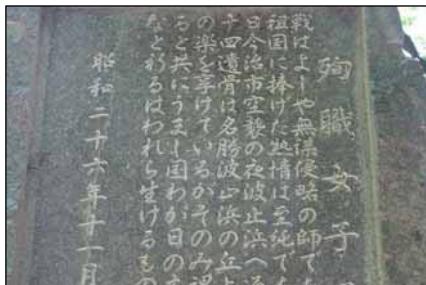
また、戦後六十余年を経て、今や本市は先人の復興への不斷の御尽力により、四国最大の都市として、着実に発展を遂げてまいりました。このことは、戦争のため亡くなられた皆様の尊い存在が礎となつていることを忘れてはなりません。

私たちは、今一度、戦争で学び取った教訓を深く心に刻むとともに、永く後世に伝え、再びあのような惨禍を繰り返すことのないよう世界の恒久平和の実現に向けて、更なる努力を続けてまいることを固くお誓い申し上げる次第でございます。

ここに、戦争犠牲者の御冥福をお祈り申し上げますとともに、今後とも我が國の繁栄と平安を見守っていたくことを念じ、あわせて御参會の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、追悼の言葉をいたします。

平成二十四年七月二十六日  
松山市長 野志 克仁

## ③ 殉職女子學徒追憶之碑



## 基本情報

所 在：愛媛県護国神社  
住 所：愛媛県松山市御幸1-476  
(伊予鉄道「赤十字病院前」電停 徒歩10分)  
連絡先：愛媛県護国神社 089-925-2353  
建 立 者：松山市  
建 立 年：昭和43年5月

## 碑 文

## 【表】

殉職女子學徒追憶之碑

## 【裏】

殉職女子学徒追憶の碑

戦はよしや無謀侵略の師であったにしてもこれら乙女達がその最期まで祖國に捧げた熱情は至純であった。時恰も終戦直前の昭和二十年八月五日今治市空襲の夜 波止浜へ通ずる通稱近見縣道に於て散った真白の花二十四遺骨は名勝波止浜の丘上に安らかく眠つて戦なく争なき天国に久遠の樂を享けているが、そのみ魂をこゝに請じて亡き友への追慕の誠を捧げると共に、うまし国わが日本のこの地上に永遠に戦火の災あらしめ給うなど祈るはわれら生けるものゝ心からなる願いである。

昭和二十六年十一月  
安倍能成題字 真鍋土鴻書丹  
坂本良介選文 同窓生存志建之

殉職者 愛媛県立松山城北高等女学校

(故人名)

同 愛媛県立松山高等女学校

(故人名)

## ④ 戦災復興記念碑



## 基本情報

所 在：愛媛県美術館前  
住 所：愛媛県松山市堀之内  
(伊予鉄道「南堀端」電停 徒歩1分)  
連絡先：松山市 市民部 市民参画まちづくり課 089-948-6814 (直通)  
建 立 者：松山市  
建 立 年：昭和43年5月

## 碑 文

## 戦災復興記念

昭和十六年に勃発した太平洋戦争により松山市は同二十年七月二十六日午後十一時三十分焼夷弾爆撃をうけた。この空襲によって被災面積四、七九平方㍍罹災戸数一四、三〇〇戸罹災者六二、二〇〇名死者行方不明二五九名に達し、市街地の大半は灰燼に帰した。

その後二十余年全市民の努力により、全国戦災地にさきがけて復興を遂げ、四国における政治・経済・文化の中心となり三十万都市として隆盛をみるにいたった。

ここに復興再建にあたり尊い犠牲者の靈に対して敬虔な祈りを捧げ、松山市の発展を祈念し、戦災復興記念事業としてこれを建立する。

昭和四十三年五月  
松山市長 宇都宮孝平

## ⑤ 戦没者・戦災死没者並びに消防・警察殉職者追悼式



※写真提供 今治市

### 開催概要（平成24年度）

歳事名：戦没者・戦災死没者並びに消防・警察殉職者追悼式  
 会場：今治市総合福祉センター 4階多目的ホール  
 （JR今治駅 徒歩8分）  
 日時：平成24年10月4日（木） ※例年10月開催  
 参列者数：220人  
 連絡先：今治市 健康福祉部 福祉政策課 0898-36-1525（直通）

### 式次第（平成24年度）

1. 開式
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 献花並びに追悼のことば：今治市長 菅良二、今治市議会議長、今治市遺族会会长
5. 電報披露
6. 献花
7. 遺族代表あいさつ
8. 閉式

### 追悼のことば（平成24年度）

本日ここに、第61回戦没者・戦災死没者並びに消防・警察殉職者の追悼式をご遺族および各界の方々のご参列をいただき厳かに執り行なうにあたり、謹んで追悼のことばを申し上げます。

歳月の流れは早く、先の大戦が終わりを告げてから早くも67年の歳月が過ぎ去りました。ひたすら我が祖国を思い、家族を案じつつ異国での亡くなられた方々、内地を襲った激しい戦禍の中で亡くなられた方々、わが身を顧みず、市民の生命・財産を守るために亡くなられた方々を思うとき、今もなお、深い悲しみが胸に込み上げてまいります。また、最愛の肉親を犠牲にし、癒されることのない悲しみを心に抱きながらも、戦後の長い道のりを今まで立派に歩んでもらえた御遺族の皆様方に対しまして心から敬意を表する次第であります。

今日の我が国の平和と繁栄は戦争によって心ならずも命を落とされた方々の尊い犠牲と、国民のたゆまぬ努力の上に築かれてきたことを、私たちは忘れてはなりません。

さて、未曾有の大災害であった東日本大震災から一年半が経ちましたが、今なお、三十四万万人の方が、故郷に帰ることが叶わず、避難先で不便な生活を強いられております。

私たちはこの国難に際し、国民が総力を挙げて戦後復興を成し遂げた底力を今一度思い起こし、日本の再生に努めること、御盡に応えるべき使命であると考えております。

本日、戦没者各位の御盡を前にして、私たちは、先の大戦から学び取った多くの教訓を忘ることなく、世界の恒久平和を願うとともに、これまで先人達が築き上げてきた歴史、文化、施策を継承しながら、力強く歩んでいくことを、ここにお誓い申し上げます。

終わりに、ご参列の皆様方とともに御盡のところに安らかなることをお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして追悼のことばといたします。

平成24年10月4日  
今治市長 菅良二

## ⑥ 今治市忠靈塔



※写真提供 今治市

## 基本情報

所 在： 今治市忠靈塔  
 住 所： 愛媛県今治市山方町一丁目甲1199番地  
 (JR今治駅 徒歩12分)  
 連絡先： 今治市 健康福祉部 福祉政策課 0898-36-1525 (直通)  
 建立者： 今治市  
 建立年： 昭和34年3月

※一般戦災死没者を含む

## 碑 文

## 【表】

忠靈塔

## 【裏】

今治市忠靈塔銘

凡そ人として 祖國のため 同胞のため 身を挺して危急におもむき 一死大義に殉ずるほど崇高な行為はなく また襲ひ来る戦火の中に防ぐ術さへ持たず 知らずひたすら親を呼び子を案じ 夫に妻に心ひかれつゝ無慙な死を遂げた無辜の老若男女ほど 悲しく痛ましい犠牲はない

我等は その人間最高の愛と勇氣と犠牲に血を以て繋がるとの自覚に立てばこそ あらゆる艱難に堪へ營々として國に郷土に家に榮光をもたらす努力を怠ることが無いのである

今治市忠靈塔は 日清日露役から大東亜戦に至る幾多の戦争に散華せられた軍人軍属 警察消防殉職者並びに一般戦災死没者等で本市に最もゆかり深い三千二百柱の靈をお納めして安らかな御冥福を祈ると共に その忠誠を永遠に記念するため全市民が満腔の感謝と祈りをこめて建立したものである

昭和三十四年三月  
今治市

## ⑦ 今治市戦災の碑



## 基本情報

所 在：別宮山南光坊  
住 所：愛媛県今治市別宮町3-1  
(JR今治駅 徒歩8分)  
連絡先：新居田大作  
建 立 者：今治市戦災遺族会、今治市の戦災を記録する会  
建 立 年：平成20年3月

## 碑 文

## 【正碑】

今治市

戦災の碑

## 【副碑】

## 碑 文

今治市は 太平洋戦争末期 昭和二十年（一九四五）  
米軍の大型爆撃機B29により 三度にわたり空襲を受け  
市民をはじめ 県内外からの動員学徒など  
愛媛県下で 最も多くの人たちが 犠牲となつた

戦災・終戦から六十三年が経過し この歴史的  
試練が風化しつつある今日 ここに今治市における  
戦災の記録を残し 戦争の惨禍を後世に伝えると  
ともに あわせて犠牲者を追悼し 永久の平和を  
祈念するため 被災市街地のこの地に、戦災の碑  
を建立する。

## 記

第一回空襲・・四月二六日。  
死者六八名・重傷者三四名・  
全壊家屋四一戸・半壊六三戸

第二回空襲・・五月八日。  
死者二九名・重傷者四名・  
全壊家屋四三戸・半壊九八戸

第三回空襲・・八月 五～六日。  
死者四五四名以上・重傷者一五〇名以上  
八二一二戸全焼・三四二〇〇名以上罹災

平成二十年（二〇〇八）年三月  
今治市戦災遺族会  
今治市の戦災を記録する会

## ⑧ 殉難者供養塔



## 基本情報

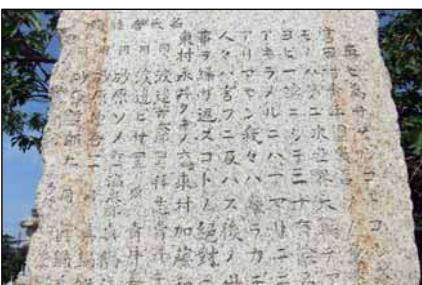
所 在：真光寺  
住 所：愛媛県今治市東村4-1-14  
(JR今治駅より せとうちバス「拝志」下車 徒歩2分)  
連絡先：真光寺 0898-48-7631  
建 立 者：富田村連合青年團  
建 立 年：昭和29年8月5日

## 碑 文

## 【表】

殉難者供養塔

久松 定武 書



## 【裏】

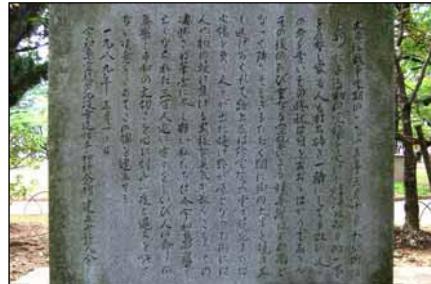
再び爲サザルコトコレ眞ノ悔悟ナリ 自由平和ニ向ツテ正シク進モウトスル我等  
富田村青年團員否ソノ意慾ニ燃ユル總テノ人々ニトツテ寸時モ忘レ去ル事力出来ナイ  
モノハ第二次世界大戦アリマセウ平和ノ樂土我富田村ノ一角ニマデソノ惨禍ハオ  
ヨビ一瞬ニシテ三十有餘名ノ殉難者ヲ出シタ東村ノ焼夷爆撃ノ惨事ハ只運命ノ悲劇ト  
アキラメルニハアマリニモ悲シク我人々胸ヨリ永久ニ拭ヒ去ルコトガ出来ルモノデハ  
アリマセン人々ハ幾ラカデモ難サレタ方々ノ靈ヲ慰サメルト共ニ大戦ニ直面サレタ  
人々ハ言フニ及ハズ後ノ世ノ人々ニマデハツキリトコノ事ヲ傳ヘ再ビ此ノヤフナ悲惨  
事ヲ繰リ返スコトノ絶対ニナイヤウニトコノ度供養塔ヲ建立シ永久平和ヲ普願スル

昭和二十年 八月五日 殉難  
施工主 富田村連合青年團  
昭和廿九年 八月五日建立

殉難者氏名

(故人名)

## ⑨ 一九四五年宇和島空襲死没者追悼平和祈念碑



## 基本情報

所 在：和霧公園  
住 所：愛媛県宇和島市和霧公園102  
(JR宇和島駅 徒歩10分)  
連絡先：個人のため記載せず  
建 立 者：宇和島空襲死没者追悼平和祈念碑建立世話人会  
建 立 年：平成元年5月10日

## 碑 文

## 【表】

一九四五年  
宇和島空襲  
死没者追悼  
平和祈念碑

## 【裏】

太平洋戦争末期の一九四五年五月十日わが町はB29による初の空襲を受けた爆弾は朝日町一帯を直撃し家も人も打ち砕き一瞬にして多数の人々の命を奪いその惨状は目をおおうばかりであったその後のたび重なる空襲による焼夷弾は火の雨となって降りそそぎまたたく間に街の大半を焼き尽くし逃げおくれて路上或は防空壕の中で焼死または火傷を負う人が出た焼野が原となった街には人や物の焼け焦げる異様な臭気が長くこもりその凄惨さは筆舌に尽し難い私たちは今宇和島空襲で亡くなられた三百人近い人々をしのび人の命の尊厳と平和の大切さを心に刻み二度と過ちを許さない決意をこめてこの碑を建立する

一九八九年五月一〇日  
宇和島空襲死没者追悼平和祈念碑建立世話人会

## 【左側面】

宇和島空襲死没者氏名碑

(故人名)

## 10 宇和島市戦没者戦災死者合同追悼式



※写真提供 宇和島市

## 開催概要（平成24年度）

歳事名：宇和島市戦没者戦災死者合同追悼式  
 会場：宇和島市役所 2階大会議室  
 （JR宇和島駅 徒歩10分）  
 日時：平成24年10月16日（火）※例年10月頃開催  
 参列者数：244人  
 連絡先：宇和島市 保健福祉部 福祉課 0895-24-1111（代表）

## 式次第（平成24年度）

1. 開式の辞：宇和島市副市長
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辭：宇和島市長
5. 追悼の辞：愛媛県知事、宇和島市議会議長、宇和島市遺族会会长
6. 追悼電報の披露
7. 追悼の歌：女性合唱団「コール・セリシア」  
いのちの歌  
この空よいつまでも
8. 献花：宇和島市長、愛媛県知事、宇和島市議会議長、宇和島市遺族会会长、衆議院議員、愛媛県議会議員、宇和島市議会議員、遺族代表、各界代表、各地区遺族会他
9. 閉式の辞：宇和島市教育長

## 式辞（平成24年度）

本日ここに、平成24年度宇和島市戦没者戦災死者合同追悼式が関係各位多数ご臨席のもと、おごそかに執り行うにあたりまして、宇和島市民を代表いたしまして、戦没者戦災死者の御靈に謹んで哀悼の誠を捧げます。

戦後、わが国は平和主義を掲げ、幾多の困難を乗り越えながらも、めざましい発展を遂げてまいりました。しかしながら、この平和で豊かな社会が、多くの尊い犠牲の上に築かれているものであることを、私たちは決して忘れてはなりません。

苛烈を極めた戦いの中で、祖国の平和と発展を思い、家族を棄じつつ戦場に倒れた方々の無念に思いを馳せる時、尽きることのない深い悲しみが胸に込み上げてまいります。また、最愛の肉親を失った悲しみに耐え、苦難の道を歩んで来られましたご遺族の皆さまのご苦労に対し、改めて心から深く敬意を表すものでございます。

終戦から67年もの歳月が過ぎようとしています。この長い年月で、戦争を知らない世代が増え、次第に戦争の惨禍の記憶が風化しつつありますが、尖閣諸島や竹島問題など近隣諸国との関係も決して平穏とは言えません。また、世界に目を向けてみると、依然としてテロや紛争のニュースが後を絶たず、多くの人々が傷つき、苦しんでおり、世界平和への道のりは、いまだ遠いことを痛感せざるを得ません。

このような時代において、私たちすべての世代の人々が悲しみの歴史を繰り返さないとの決意を新たにするとともに、戦没の方々がかけがえのない命をもって示された、戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み、未来を担う次の世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。

宇和島市におきましても基本理念である「人と交わり、緑と話し、海と語らうきらめき空間都市」を実現させ、心豊かで暮らしがやすい素晴らしい「まち」として、今後さらに大きく発展させていくことが、戦没された方々への慰靈に繋がるものと強く確信しております。

今ここに、ご列席の皆様方とともに、世界の恒久平和への決意を新たにし、多くの御靈のとこしえに安からんことをお祈り申し上げますとともに、ご遺族並びにご列席の皆様方がお元気でお幸せでありますよう祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成24年10月16日  
 宇和島市長 石橋 寛久